

動物の診察室から

○ 53 ○

コーギー犬の「クッキー

せん。

「君」は14歳の男の子です。元気も食欲もあるのですが、後ろ足が麻痺してしまい、立つことがで

きません。クッキー君は11歳くらいから、少しづつ後ろ足の麻痺が始まり、徐々に進行していきました。最初は軽度の麻痺で、内服薬の投与で治療をしていましたが症状の改善はありませんでした。

診断は犬種、症状、そして、その他の病気を除外して診断します。クッキー君をいつも世話してくれるのは、クッキー君の大好きなおばあちゃんです。お母さまも時々手伝ってくれます。クッキー君は前は体重が



いつもきれいにもらっているクッキー君

献身的な介護で清潔に

おばあちゃん、ありがとう！

クッキー君の病気は、「変性性脊髄症」と考えられました。この病気は10歳くらいから少しづつ後ろ足の麻痺が始まってしまいます。この病気は19歳もありました。立てなくなってからダイエットをして、今は16歳になりました。この病気は10歳くらいから少しづつ後ろ足の麻痺が始まっています。シエバードや、コーギー犬に見られ、今のところは、治療で回復する事はありません。

一時期、尿がうまく出

19歳もありました。立てなくなってからダイエットをして、今は16歳になりました。この病気は10歳くらいから少しづつ後ろ足の麻痺が始まっています。シエバードや、コーギー犬に見られ、今のところは、治療で回復する事はありません。

おばあちゃん、ありがとうございます。おばあちゃんはクッキー君のおなかをマッサージして、排尿をさせてあげましたが、おばあちゃんたちはとつて、クッキー君のお尻を持ち上げ

歩けなくなつた動物の歩けなくなつた動物の世話は大変です。でも、クッキー君はいつもきれいで、よく世話をされて言つて、クッキー君のお尻に薬を塗つてあげます。そして、汚れたところはきれいに洗つてあげるのです。

そんな介護のおかげ

おなかに手を回すとす

ぐに便が出てしまいました。おばあちゃんたちがクッキー君

で、立てなくなつて2年

が過ぎますが、床ずれも

できません。また、夜は

りがとう！ わんわん

あるため、クッキー君の肛門がめくれてしまいま

した。でも、おばあちゃん

す。

歩けなくなつた動物の世話は大変です。でも、

クッキー君はいつもきれ

いで、よく世話をされて

いることがわかります。

クッキー君のおばあちゃん

に感謝していると思

います。がんばつてください

ん、クッキー君は皆さ

んに感謝していると思

います。がんばつてください

ん、クッキー君は皆さ

んに感謝していると思